

Forest Good 2019 間伐・間伐材利用コンクール

応募申込書（継続的取組部門）

※受付番号 継続3

会社名・団体名等 **有限会社 津田瑞苑**

受賞年度 平成15年

取組等の名称	檜と杉の食器 ベビー食器 お食い初め食器など	
活動の種類	<input type="radio"/>	間伐材の利用に係る取組（製品生産、資材利用、生活用品など）
		間伐の実践（間伐の実施・普及、集約化取組、間伐技術の開発・工夫、間伐材の販売など）
		環境教育活動（地域住民への普及啓発活動含む）
受賞の内容 （概略）	<p>「暮らしに役立つ間伐材利用」</p> <p>自社山林から調達した間伐材を利用して、液体ガラスを染み込ませるといったコーティング方法により、高温食器洗浄機での洗浄も可能であり、エポキシやアレルギーなど化学反応に弱い体質の方でも使用できる健康的で安心な木製食器を制作し販売する。</p> <p>オリジナルガラスコーティングを開発するとともに、試行錯誤を繰り返しながら、こだわりの「安全で安心な器」を製品化する。</p>	
受賞後の展開 （受賞から現在まで）	<p>木の温もりを小さいころから感じていただこうと、ベビー食器、離乳食食器、お食い初め食器などに特化したホームページを作り子供用食器を中心に展開してきました。</p> <p>イラストや名前を焼きペンで描きオリジナルさも出し、大変喜んでいただいています。</p> <p>要望にも応じ、取っ手付きのマグカップ（くり抜き）、ベブスプーン、箸、弁当箱、轆轤で作ったランチボックスなども製作するようになりました。</p>	
今後の展開 （現在から未来へ）	<p>去年には、透気性のあるコートなので杉や檜の香りが邪魔になる器の対処法として最低限の気は通しお茶、コーヒーカップ、ワイングラス、味の見極めに重要なお玉など食品そのものの味と香りを可能にするガラスウッドコートが仲間入りしました。現在は、奈良県（木のブランド課）の取り組みとしてもっと木の利用を推進するために、近畿大学医学部環境医学・行動科学教室の協力の元、給食の食器などで使えないか・・・まずは、近畿大学の学食でお茶碗、お椀、深皿、取り皿を試験的に使用するという実験のために制作。木製食器は、体などにどのような影響があるのかというも調べられるようです。これからの課題としては、給食センターで確実に熱風高温殺菌庫で耐えられるようにすることです。</p>	
取組の実績	<p>ネット販売</p> <p>阪急百貨店で販売（2005年から2010年）アマゾン（先月まで。偽サイトが横行し辞める）奈良放送（ええもんストア）、舞子六神社（撤饌）、立岩商事（市町村の出産祝）産婦人科（出産祝）中川政七商店（2019年9月より一ヵ月日本橋高島屋S.C.旅する日本一出品）ラグーナベイコート（焼肉コーナー）熊本ホテル・竹ふえ（子供用食器、スプーン、フォーク）レストラン舞鶴ふるるファーム（バイキング取り皿）中川政七商店（ベビー食器）</p>	
その他	<p>2004年NHK「おはよう日本」取材、2005年NHK「ニュースなら610」NHK「関西845」取材のほか奈良テレビなど取材多数、ベビー雑誌の取材多数、NEW YORK BROOKLYN テストマーケティングの誘い</p>	
取組、製品等の写真、図表等		



連絡先等 (公表可能な範囲 でご記入下さい)	(住 所) 〒633-0212 (担当部署等) 木工部 (電話番号等) TEL:0745-82-1011FAX:0745-82-8335 (U R L) http://www.tsudazuien.co.jp
------------------------------	---